

〈家庭科〉 6年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・安全に関しての基本的なこと（調理用具・裁縫用具など）に留意して、活動できている。
- ・生活時間の有効な使い方、家族との触れ合いの大切さは理解している。食品にあった洗い方・切り方・調理の仕方・後かたづけの仕方やミシンの基本的な操作など、概ね理解できている。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・朝食作りでの計画では、栄養のバランス・手早く作ること・後片付けが楽であること等の条件を踏まえた献立について自分なりに工夫して考えられた児童が多く見られた。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・生活時間を有効に使って、家族に協力し家族との触れ合いをもつことに関心を示す児童が多い。しかし、学校でも家庭でも児童の生活が忙しく、家族とゆっくり話す余裕もない児童が大半である。その中で、学習したことを生かし、家族のために、何か作ったという児童も多くいる。
- ・フライパンを使った炒める調理、手洗いの実践では、安全に留意し、協力しながら集中して取り組む児童が多く見られた。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・環境にも配慮して、調理を考えさせること。
- ・一人ずつ理解の仕方が様々である。家庭生活についての基礎的な知識の理解を図る。
- ・学力の定着度がわかるためにも、必要に応じて、テストを行い、理解度を確認していくことが必要である。理解できていない部分への手立てが課題である。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・学習したことを理解はしているが、自分の生活に生かすことが難しい児童がいるため、自分の場合に当てはめて考えさせること。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・生活時間の有効な使い方、家族との触れ合いを楽しくする方法などの学習では、理解していてもなかなか実践に結びつきにくい。しかし、調理の関心は高く、学習後に家庭で実践する児童は少ない。調理や裁縫以外にも、より関心をもってもらおうこと。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・大きな題材ごとにまとめのテストを実施して、児童の学習でのつまづきを把握。指導に生かす。
- ・自分の言葉で説明できるように、発表の機会をふやす。また、自信をもって発表できるように、発表の際の話型を提示する。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・最上級生として、生活を楽しくする物の製作では、独自のアイデアを生かし、縫い方も工夫してつくらせる。作品見本や資料をみたり、友達からアドバイスをもらったりして考えさせる。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・休日を利用して、家庭での実習計画を立て、実践させる手立てをもつ。
- ・カードなどに記入させ、発表する場を設定し、より家庭実践への意欲につなげていく。
- ・学校での学習が、家庭生活の中で活かせるようにするために、家庭学習を通じて保護者との連携をはかる。